

【6 地下水集排水施設】

- 埋立区域の地下に流れる地下水は、地下水集排水管を通り、防災調整池を経由して河川に放流します。
- 地下水集排水管は、遮水シートの下に葉脈状に敷設し、地下水を速やかに集排水します。
- 地下水の流れのイメージは、下図のとおりです。

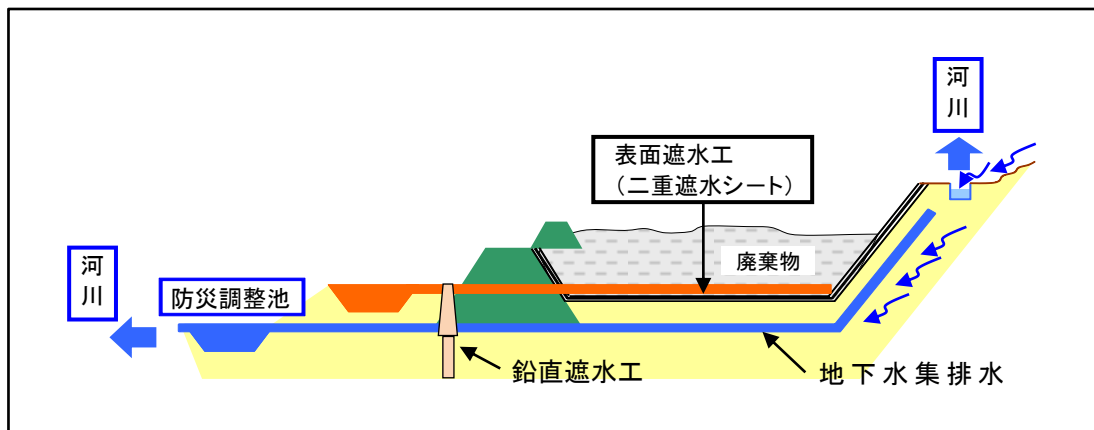


図 地下水の流れのイメージ

- 地下集排水管の大きさ及び配置は、以下のとおりとしています。
 - ・ 管径は、幹線を 30cm、支線を 20cm。
 - ・ 支線の間隔は、原則 20m 以下。
 - ・ 常時流水のある箇所は、管径を 60cm 以上。
 - ・ 上記の地下水集排水管の下部に、造成工事中に利用した転流管（最大直径 1,350mm で計画地の中央に埋設し沢の水を速やかに導水するために設置したもの。）を造成後も地下集排水管として利用。